



# 静岡 STEAM FUTURE SCHOOL

2024, 11,07 No.8

やった！サイエンスカンファレンス  
で「研究発表大賞」に市川迅君  
と堀池哲平君が輝く！！

SCIENCE CONFERENCE  
2024  
研究発表大賞

研究発表大賞



2024年度の「サイエンスカンファレンス」が東京・お台場の日本科学未来館で10月12日(土曜日)、13日(日曜日)に行われました。

この「サイエンスカンファレンス」は、JST日本科学技術振興機構の「次世代科学技術チャレンジプログラム」の小学校5年生から中学校3年生を対象にした「ジュニアドクター育成塾」に、全国の30の大学や研究機関が、「ジュニアドクター育成塾」の支援を受け、講座を開設しています。

静岡STEAMフューチャースクールは、静岡大学が開校している講座で、JSTの支援を受け第2期目の2年目の活動をしています。

全国でJSTの支援を受け実施している30機関から一人か二人の素晴らしい探究活動をした受講生が各機関から選出され、探究活動の内容を発表し、内容を競い合う大会です。

静岡STEAMフューチャースクールの代表として石川迅君と堀池哲平君が参加し、二人とも「研究発表大賞」を受賞しました。二人が同時に受賞したのは、静岡STEAM F.S.で初めてのことです。市川君の「カラスウリの花の開花の研究」は3年目、堀池君の「生分解性プラスチックの研究」は、5年間探究活動を続けた作品です。連続して疑問に感じたテーマを、探究し続けた成果が素晴らしい結果となって、

JSTの審査からも認められたのです。二人の作品について述べることは控えて、12月15日(日)にグランシップで開催される「静岡STEAMフューチャースクール2024探究活動発表会」での、本人の発表を楽しみにして下さい。



一つの不思議や疑問を何年も掛けて探究し続けることの大切さに気づかせてくれます。

みなさんは、この二人の探究活動からどんなことを学びますか？

静岡県や全国規模のいろんな科学論文コンクールで認められて受賞しても、その年の夏休みだけの取り組みで終わって、次の年にはもう取り組まないという人が多いことに驚かされます。自分の科学的な能力を伸ばすとても良いきっかけを手にしたのに…と私たちは思うのです。残念です！みなさんは、なぜ勉強をするのか考えたことありますか？

おそらく自分の科学的な探究能力を伸ばそうとは考えていないのではないかと推測します。夏休みの宿題として取り組んだ自由研究というだけで終わってしまう人が、なんと多いことか。静岡STEAMフューチャースクールを受講しているみなさんは、そう考えてほしくないのです。みなさんの未来を拓くのに必要な能力って、どんな能力が求められるか考えたことありますか。あなたは、将来どんな仕事や職業に就きたいと夢を描いていますか。君は、どんな仕事に就いて活躍したいと考えていますか。みなさんは、将来の自分について考えることありますか、どんな夢を描いていますか。

そのために身につけておかななくてはならないことは何ですか？どんな能力を身につけておかななくてはならないと考えていますか？それはどうしてですか・・・？この機会に、あなたの将来を考えてほしいのです。(文責：増田)